

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表日：2026年 2月20日

事業所名：運動特化型児童発達支援・放課後等デイサービス ポレポレ

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点・改善目標など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	11	0	0	利用する部屋を分けたり活動に応じてスペースを分けたりすることで、十分な環境の確保を行っています。同じ利用時間帯に利用人数が多い場合は、パーティションなどを活用して別の活動をしている人が気にならないよう配慮しています。
	2 職員の配置数は国の基準を満たしているか	11	0	0	基準を満たした人数で運営しています。また専門性を活かした支援を行えるような体制も整えています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか	11	0	0	机上で活動する時は、机椅子の配置や足置き、パーティションの活用等、お子さまに合わせた配慮をしております。また、どこで遊べるか、どこで身体を動かすかがわかりやすいようにスペースを区切っています。事業所内は、段差はなく活動しやすいスペースとなっています。
	4 生活空間は、清潔で、心地良く過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	11	0	0	衛生面に配慮し、定期的な換気や使用した物の消毒作業、整理整頓や清掃を徹底しています。お子さまに合わせて活動内容を設定していますが、内容に合うように広さや場所を変更しながら環境設定を行っています。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	10	1	0	お子さまの状況に応じて個室空間にソファを置いたり、パーティションで区切ったりして環境を整えています。相談室で一人休みたい時はマットを敷いてクールダウンできる場を作っております。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	11	0	0	毎日、職員全体で療育の振り返りを行う時間を設定しています。支援計画会議やモニタリング会議は全職員参加のもとで進めています。お子さまひとりひとりに合わせた支援内容を考えて遊びや活動を準備し、進め方の情報共有や支援方法の統一を図っています。
	7 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11	0	0	保護者の方のご意見には全職員で目を通し評価の結果の振り返りの時間を作っています。改善すべきところは、早急に対応し業務内容に反映させております。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	11	0	0	毎日、話し合いの時間を設けて振り返りや状況に応じて担当の変更、支援内容の工夫に繋がるような話し合いをしています。会議や研修では全員が発言する機会を設けて出し合いをし、幅広く意見を聞き取りながら業務改善へと繋げています。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	10	1	0	虐待防止に関しては第三者に入っただき外部評価をお願いしています。お子さまへの対応や保護者の方の安心感につながるようなご意見をいただきました。

	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか	10	1	0	外部研修を受講することは業務の都合上難しい場面も多いため、事業所内の支援時間外で研修日を月毎で計画し、確実に実行できるようにしています。全体での研修や職種別の研修、また可能な範囲で外部での研修(オンラインを含む)を受け、職員の質の向上に繋げています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	11	0	0	児童発達支援ガイドラインに示された5領域について職員全体で支援プログラムの内容の点検作業を行い、法人のホームページにて開示しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	11	0	0	アセスメントとニーズを照らし合わせながら適切な支援を提供できるよう支援会議を実施して作成しています。 保護者の方のご意見だけでなく、お子さまの発達段階に適しているかどうかも判断し、支援内容について理解を深めるための丁寧な説明や標準化されたアセスメントによる的確な評価を行っています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	11	0	0	支援計画会議には支援に係る職員全員が参加し、アセスメントやモニタリングをもとに支援目標や支援内容について検討しています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか	11	0	0	情報共有システムを活用して、支援計画の確認が随時できるように整備し、目標に合わせた支援プログラムを立案しています。支援後の振り返りも支援計画の目標や内容に沿って行い、次回の支援に繋げています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	11	0	0	NCプログラムや感覚プロファイル(SP)、S-M社会生活能力検査などフォーマルなアセスメントを必要に応じて実施しています。また、活動時の様子などインフォーマルな情報に関しても活動後の会議などで情報の共有を行っています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10	1	0	本人支援については児童発達支援ガイドラインに示されている5領域を網羅しながら支援内容を設定しています。家族支援や移行支援、地域支援についても目標や内容を支援計画に記載しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	1	0	主担当を交代制で行いながら、指導に係る全員で検討して活動プログラムを決定しています。前日の会議内でそれぞれの考えを擦り合わせて話し合いを行い、お子さまに応じた支援プログラムを選定しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11	0	0	活動内容を決定する会議の中で、意見を出し合うことで活動内容の工夫を適宜行っています。お子さまの状態や様子を想定して前日に計画しています。目的なく毎日同じ活動が続くことはありません。

適切な支援の提供	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか	11	0	0	専門的支援では個別を中心に、また全員で体を動かす小集団活動は必ず取り入れています。お子さまの意思も尊重しながら個別活動や集団活動を組み合わせています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか	11	0	0	当日、または前日に活動内容に関して打合せを行い、イメージの共有を図り療育に取り組んでいます。主担当の動き、補助の動きを事前確認し、活動がスムーズに進むように話し合いをしています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11	0	0	全体で会議を実施し、支援の振り返りやお子さまの様子についての気づき等を共有し、次回の支援に反映させています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11	0	0	その日にあった出来事や支援内容は詳細に記録をしています。記録後は職員間や保護者と情報共有を行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか	11	0	0	年に3回の面談を実施し、お子さまの成長や課題、今後の目標について等を話し合う機会を作っています。定期的に支援計画の評価や見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画している	10	1	0	主に児童発達支援管理責任者が参画しています。必要に応じて専門職なども会議に参加し、子どもの特性や支援について話す機会の確保を行っています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	8	3	0	通園している園等とは送迎や担当者会議等を通して連絡を取り合い連携していますが、医療に関しては連携体勢が築けていない状況です。保護者の方からは、受診時の診断や検査内容について報告していただくことがあります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	2	0	担当者会議や必要に応じた電話連絡等で適宜情報共有、相互理解に努めています。また、小学校就学に向けて必要な支援の提供を心掛けています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	1	1	就学するお子さま全員の進学先の小学校等と会議の機会を作り、情報共有をさせていただく時間は設定できておりません。必要に応じて、何度か移行に向けた情報共有や相互理解の場を設定いたしました。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか	4	5	2	現在、ポレポレに繋がっているお子さま全員が幼稚園や保育園に通園しながら児童発達支援を利用しています。短い時間区分の中で実現することが難しいですが、地域の子どもの触れ合いが持てるような機会を作りたいと考えています。
29	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11	0	0	お子さまの活動の様子や支援内容、目標に沿った記録を丁寧にお伝えできるように心掛けています。利用時には毎回保護者にお伝えすることで、日々の成果や課題に対して共通理解が持てるように努めています。	

	30	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか	4	4	3	地域で開催される研修のご案内をさせていただいております。子育て等についてのご相談があった際には、個別に対応を行っておりますが、ペアレントトレーニングや家族が参加できる事業所内研修などの機会の確保には至っておりません。
保護者への説明責任等	31	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11	0	0	利用開始時に説明を行っています。利用者負担等については表を使用してわかりやすくお伝えできるようにしています。
	32	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか	11	0	0	面談で保護者の方にお子さまの様子を伝え、行動の背景や今後伸ばしていきたい力についてお話し、保護者の方のお話伺いながら支援計画書を作成しています。今後も定期的にお話をさせていただく機会を作っていきます。
	33	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	11	0	0	支援計画書を作成する時は、原案を提示させていただき、保護者からのご意見を伺っております。支援計画本案についても丁寧にご説明し、同意をいただいております。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11	0	0	面談時だけでなく、LINEや情報共有システムの連絡機能でご相談を受けたい際には、対応の仕方やご家庭でできる取り組みなどについてお答えをさせていただいております。
	35	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか	0	2	9	保護者会の交流の場の設定はできておりません。仕事をしている保護者の方が多く、保護者同士で交流する機会を設けることが難しい状況です。必要ないというご意見もあり、開催有無の検討をしています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	0	0	職員同士で相談しながら迅速に対応しています。可能な範囲で意向に添えるように対応しており、対応した際は、職員にも情報共有を行なっています。
	37	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11	0	0	月1回程度の通信やInstagramは交代制で作成しています。情報共有システムを活用した情報発信や急を要する時の個別でのLINEのやり取りをさせていただいております。
	38	個人情報の取扱いに十分留意しているか	11	0	0	通信や情報発信の中で写真を使用する時は、個人と特定されないようになっています。会議資料や支援に関する内容は個人ファイルに綴じ、鍵付きの引き出しに保管しております。個人情報の取扱いについては、利用開始時に説明および同意を求めた上で対応させていただいております。

	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	0	0	使用する言葉の表現や伝え方は職員間で相談し工夫し、お子さまに応じた言語コミュニケーションを図っています。更に視覚的、聴覚的支援などを用いて、個々に応じた方法で伝達を行う場面もあります。言葉の選択や相手の意向に寄り添えるようなやり取りができるように努めています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2	7	事業所の行事を地域住民に発信できておりません。今後の課題として、地域交流を持つ機会を作りたいと思います。
非常時の対応	41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	11	0	0	毎年計画的に実施しております。毎月の全体研修の中で、各マニュアルについて職員に周知し、訓練等も計画に沿って行なっています。保護者の方には、利用開始時に説明を行ったり、避難訓練実施時には情報を発信したりして情報共有を図っています。
	42	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11	0	0	毎月、様々な非常災害を想定して避難訓練を実施しております。実際に起こった時に対応できるよう職員全体でシミュレーションを行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	11	0	0	利用開始時や面談時に随時確認させていただいています。医療機関受診時の定期的な服薬の情報についてもいただいております。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	11	0	0	食事をする機会はありませんが、利用開始時のアセスメントにてアレルギーについての問いの項目に記載させていただいております。アレルギーがある場合は把握できるように職員間で情報共有しております。
	45	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	11	0	0	日々の安全点検を行っています。職員全体で安全計画の共有や定期的な訓練を実施しております。
	46	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか	11	0	0	避難訓練等を実施した際は情報共有システムを活用して発信しています。災害が起こった時の避難先や緊急時の連絡について共有を図っています。
	47	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか	11	0	0	職員間で情報共有を行い、改善に繋がっています。作成したヒヤリハット事例はファイルに綴じて保管するとともに職員で回覧し同じことを繰り返さないように意識づけに繋がっています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11	0	0	毎年、市や県主催の虐待防止研修に参加して職場への伝達研修を実施して意識改革を図っています。事業所内研修においても、虐待にあたる行為がないか小さな気付きの確認作業をして振り返りを行なっています。
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	11	0	0	職員でやむを得ない状況や利用児童の様子、代替案等を検討しながら身体拘束に関する研修や会議を実施しています。必要時には事前に説明を行い、了承していただいた時に支援計画に明記しています。	